

坪谷水哉 ひらやみづが 評論家、俳人。文久二年二月二十六日越後國生れ、

昭和二十四年二月二十五日歿（八二一九究）。本名善四郎。別號治雷

生、治雷町人。水哉堂、水哉子、水哉居士、水哉生、水哉軒主人、水

哉陳入、北山武士、尙古堂主人、雪の家越路、鴨水漁史、聖法師等。

明治二十一年東京專門學校卒。博文館入社、編輯主幹。二十四年東京

市會議員、大正六年大橋圖書館館長、翌年博文館取締役、日本圖書館

協會會長を務めた。

著譯書『通俗政治演説』（水哉陳入

名、明治二十一年十一月五日博文

館）、『政治新論』（本名、明治二

十二年七月五日博文館）、『佛蘭西

史』（同、明治二十二年二月二十二

日博文館「萬國歴史全書」）、『内

外蒙商列傳』（同、明治二十四年九

月十五日博文館「博文館叢書」）、萬民『錦囊日本農工用文』（同、明治

二十五年六月八日博文館）、『明治歴史』全二冊（同、上卷・明治二

十六年一月二十一日、下卷・六月二十八日博文館）、『幼年立志編』

（合著・坂下龜太郎編、明治二十七年二月十七日博文館）、『繪入商

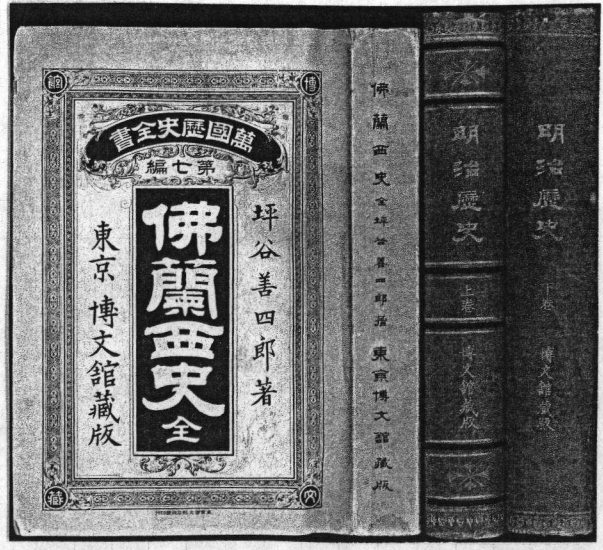
業讀本』（本名、明治二十七年七月十二日博文館「幼年全書」）、

『リリーダイヤー著』『工業進化論』（同、譯、明治二十九年十月二十日

博文館）、『日本女禮式大全』全二冊（同、明治

三十年八月八日博文館）、『通俗明治歴史』（同、

明治二十一年四月四日博文館「通俗百科全書」）、



『北清觀戰記』(同、明治三十四年五月、二十七頁文武堂)、『山水行

脚』(明治四十四年七月、二十六頁博

文館)、川中村清象水谷西紅著『傳説の山水』

(校訂、大正四年七月五日興成館書

店)、『東西南北』(大正四年八月

八日博文館)、『俳諧名所めぐり』

(内題「俳諧名所巡り」大正十年九



月十五日博文館)、『大橋佐平翁傳』(本名、編、昭和七年二月十五

日博文館)、『水哉紀行選集』(昭和八年五月六日博文館)、『俳春

秋』(昭和十年五月十七日自刊)、『博文館五十年史』(本名、編、

昭和十一年六月十五日博文館)、隨筆『回顧集』(昭和十二年二月)一

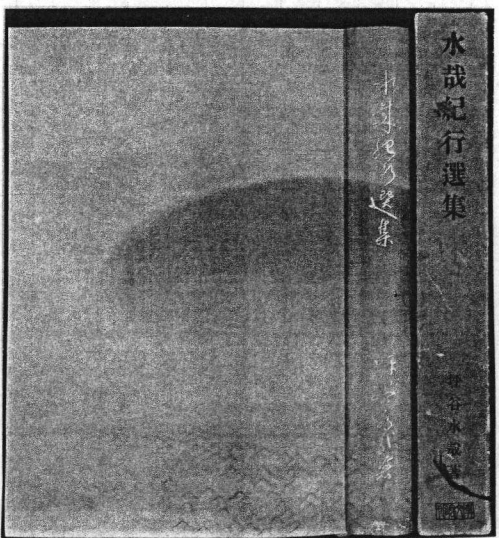
十六日博文館)、『大橋佐平翁伝』(本名、昭和四十九年十月十五日

栗田出版会)等。

文獻、竹内善作・小谷誠一・三宅奥田勝正・石井宗次・愛澤豊

隆勝著『坪谷先生遺書記念著作集』(昭

和十二年四月二十日大橋圖書館)刊。



水哉紀行選集

十卷地行選集